

トーヨーバイオメタンガス発電所が 2020年1月20日の循環経済新聞に掲載されました

株式会社トーヨー養父バイオエネルギー(兵庫県養父市／代表取締役:岡田吉充)が運営しています、『トーヨーバイオメタンガス発電所』が循環経済新聞に掲載されました。

本事業は、国家戦略特区である兵庫県養父市のバイオメタンガス発電所にて、家畜ふん尿や食品残渣をメタン発酵させ、発生したメタンガスにより発電をおこなう事業です。

発電後に生成される消化液は良質で安価な有機質肥料として同地域で作る特別栽培米や野菜にも使用します。

同地域の家畜ふん尿処理問題の解決や有機質肥料の供給による地元農業への貢献などのシナジーを生み出し、エネルギーの地産地消モデルとなります。

再生可能エネルギー活発化

国内最大級のメタンガス発電所が稼働

「トーヨー養父バイオエネルギー」が、兵庫県養父市にある「トーヨーバイオメタンガス発電所」(トーヨー養父バイオエネルギー)を運営している。同社は、家畜ふん尿や食品残渣をメタン発酵させ、発生したメタンガスにより発電をおこなう事業です。発電後に生成される消化液は良質で安価な有機質肥料として同地域で作る特別栽培米や野菜にも使用します。同地域の家畜ふん尿処理問題の解決や有機質肥料の供給による地元農業への貢献などのシナジーを生み出し、エネルギーの地産地消モデルとなります。



国内最大規模の「トーヨーバイオメタンガス発電所」(トーヨー養父バイオエネルギー)

食品リサイクル事例 西日本

2020年1月20日付
循環経済新聞